

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 5月 31 日

事業所名 おひさまのたね療育園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	活動毎に適切な訓練室を用意している。	長期休暇時の児発と放デイ利用児の活動スペースを工夫する必要がある
	2	職員の配置数は適切である	1	4		新規職員の採用に加え、コアタイムの増員を検討する
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	棚による仕切りの他、注意がそれないような掲示物の話し合いを設けている	こころを落ち着かせたり、プライバシーが保たれる空間が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	清掃チェック表の作成や、子ども達自身にも手入れの指導等を行っている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	4		会議の時間を取る為、利用時間の調整を行う
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2		保護者への会報などを作成し、意見箱以外の評価を受け付ける体制を整える
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2	直接のやりとりだけでなく、事業所公式ラインも活用しスムーズなやりとりを行う	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0	中部広域の監査も含め、指摘事項の早期改善に努める	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2	事業所の専門性を深めるため、体験や英語学習の機会を設けている	全職員が漫然なく研修の機会を持てるよう調整が必要
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	2		アセスメントの判断基準が統一されていないので、誰でも均一な評価のできるツールを用意する
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3		アセスメントの判断基準が統一されていないので、誰でも均一な評価のできるツールを用意する
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	3	モニタリング会議や担当者会議において、利用児以外の関係者も支援の一環として相談を進める	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	2		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	4		チームで行う体制を取る為、会議時間を作る時間の余白作りを行う
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2	それぞれの分野の活動の数を増やし、常に構築する	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	2	3	個別の時間と集団活動の目的や意義の違いを明確にしている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	0	5		職員の出勤時間と、利用児童の支援開始時間の調整を行う
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0	5		職員の退勤時間と利用児童の支援開始時間の調整を行う
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	デイロボを活用している	
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	2		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2		現場職員が会議に参加できるよう、利用児童の調整を行う
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	0	5		外部とのコネクションを増やす
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5		対象児童なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5		対象児童なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3		他施設との連絡調整のため、送迎時のコミュニケーションを意識する
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	5		他施設との連絡調整のため、送迎時のコミュニケーションを意識する
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	5		外部とのコネクションを増やす
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5		外部とのコネクションを増やす
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5		外部とのコネクションを増やす
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	2	連絡帳の活用の他、保護者への傾聴を大切にしている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	5		職員のペアレントトレーニングについての研修を行う
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	2	利用開始時には、各種説明を行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	2	デイロボの活用により、保護者の負担を減らす	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2		モニタリング以外にも、保護者と関わる機会を設ける
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		保護者への案内に加え、会結成の希望調査を行う
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	意見箱の設置の他、公式LINEからも申し入れを受け付ける体制作り	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	4		月1回を目安に、事業所の活動や様子を伝える会報を作成する
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	資料の保管はすべて施錠	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	絵カードの活用や声掛けの工夫を行う	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		地域と協力しあう体制作りのため、お招き会などを計画する
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1	保育園との合同訓練や感染症の状況を共有し把握している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	年間の訓練スケジュールを策定している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	利用開始時にアセスメントシートを利用し漏れのないよう確認する	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	アレルギー児なし	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	事業所内だけでなく、他事業所の例も参考にする	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	虐待に関する研修の他、資料を掲示する等している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	身体拘束に関する研修の他、同意書の作成を行う	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。